

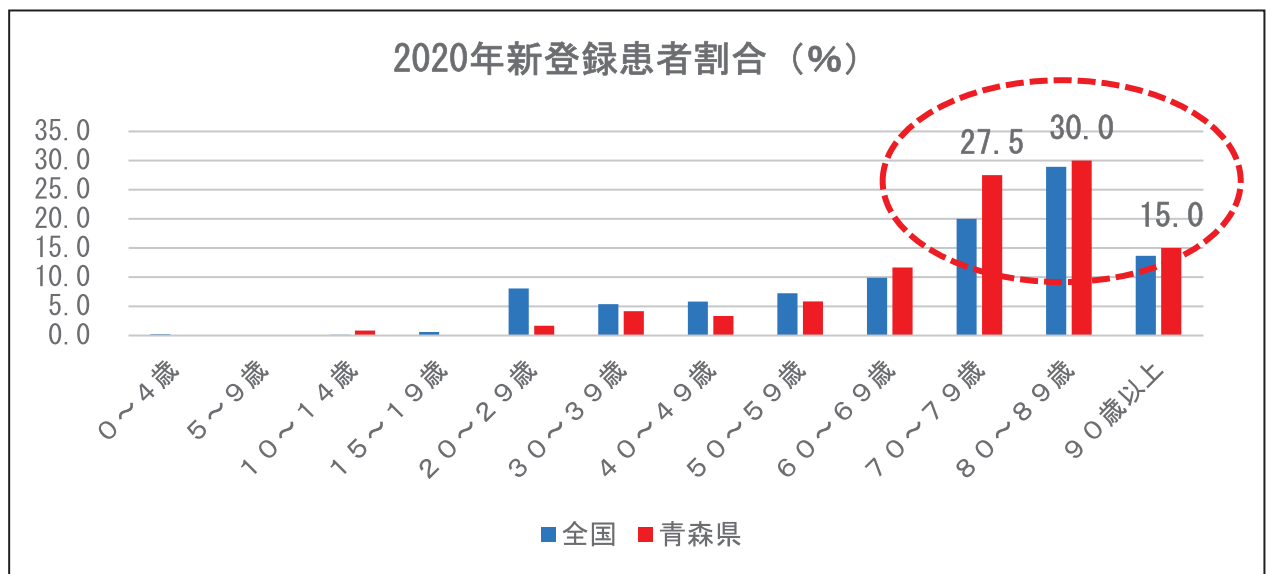
高齢者のための施設における結核予防

青森県版（令和4年1月更新）

★高齢者の結核患者が多くなっています！

●結核患者の7割以上が70歳以上

昭和の結核高まん延期を過ごしてきた現在の高齢者は、結核既感染者が多く、高齢になり、糖尿病等の合併症や、免疫抑制剤、ステロイド等の治療により免疫力が低下した際に発症することから、近年、高齢者、特に80歳以上の結核が多くなっています。



★高齢者の結核は気づきにくい

●高齢者は咳症状がないことが多い

一般的な肺結核の症状としては、咳、痰、発熱（微熱）、食欲不振、倦怠感、体重減少などがありますが、高齢者の場合、咳症状がわかりにくいこともあり、結核に気づかないまま病状が進行していることがあります。

また高齢者は、肺に空洞ができにくい場合もあり、肺炎で治療していた方が実は結核だったということもあります。

★施設職員は結核感染のハイリスク者

●高齢者の結核は気づきにくく、増加しているため、施設で働く職員は結核感染のリスクが高くなります。

⇒施設利用者の結核早期発見は、周囲で働く職員の感染予防に繋がります！

（裏面を参考に結核を早期発見しましょう!）